

## R70707 副校長 朝礼講話

### 内容

- 七夕であるこの日に願い事をしたか聞くと、多くの児童が手を挙げて答えてくれました。
- 東洋館出版社の絵本『ぼくはなきました』（くすのき しげのり 作 / 石井 聖岳 絵）の読み聞かせを行いました。
- 本の内容は、参観日に自分の長所を発表することになったぼく。いくら考えても、友達の名所ばかりが思いつく。自分の長所が思いつかなくて困って泣きそうになっている時、先生があることを教えてくれた。それは、『友達の名所を見付けられることがあなたの長所』と自分では気付けなかったことを先生が優しく教えてくれたことに感動してちょっぴり泣いてしまう。というお話。
- 副校長の今年の七夕の願い事は、『落五小のみんなが、自分の良いところを分かり、よい成長をしますように』という話で締めました。

### 本講話のねらい

- 各学期の終了間際、よく教師は「〇学期を振り返って、まとめをするように」と指導をします。学習や生活の課題を振り返ることだけでなく、自分がしてきた良いことに目を向けることも大切です。
- 自分の長所にも向き合い、良いところはどんどん伸ばすことが自己肯定感を育むことにつながると考えています。
- 子どもはまだ自分を客観視することが十分にできないかもしれませんが、そのような時は、大人（教師も保護者の方も）が適切な言語でしっかりと長所を伝えることが非常に重要であると考えています。